

令和5年度 5年2組 学級経営案

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。

めざす子ども像

〔やさしく〕

気持ちよいあいさつをする子  
助け合い、思いやりのある子

〔かしこく〕

よく考え、進んで学ぶ子

〔たくましく〕

楽しく運動し、目標をもって体力・  
気力の向上に最後までがんばる子

5年2組経営

| 学級経営目標   | 学年相互の連携を図りながら、心身ともに健康でたくましく、自らよく考えて行動する子どもを育てる。 |                                                                   |                                                                                 |  | 一学期 | 二学期 | 三学期 |
|----------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--|-----|-----|-----|
|          |                                                 |                                                                   |                                                                                 |  |     |     |     |
| 学級重点目標   | 1                                               | 前向きに明るく希望をもって生活し、友達を思いやることができる子どもを育てる。                            |                                                                                 |  |     |     |     |
|          | 2                                               | 運動することの楽しさを味わうとともに、体力・気力の向上に努め、何事にもめあてをもって、粘り強く取り組むことができる子どもを育てる。 |                                                                                 |  |     |     |     |
|          | 3                                               | 基礎学力を身に付けるとともに、自ら進んで学び、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てる。                    |                                                                                 |  |     |     |     |
|          | 4                                               | 子どものよさや出来事などの情報を積極的に発信するとともに、保護者からの情報を真摯に受け止め、信頼関係を構築する。          |                                                                                 |  |     |     |     |
| 学級経営の具体策 | I<br>豊かな心と健やかな体                                 | 1                                                                 | 道徳の授業やキャリア教育を充実させ、互いを認め合い、助け合ったり協力し合ったりできるような学級づくりに努める。                         |  |     |     |     |
|          |                                                 | 2                                                                 | 高学年としての自覚をもち、係活動や委員会活動、ボランティア活動に進んで取り組んだり、責任をもって取り組んだりできるようにする。                 |  |     |     |     |
|          |                                                 | 3                                                                 | 一日一回は子どもに声かけを行い、児童理解に努める。                                                       |  |     |     |     |
|          |                                                 | 4                                                                 | 早寝・早起き・朝ごはん、「ハチツボネブ」の声かけを行うことで容儀指導の徹底を図り、家庭との連携に努める。                            |  |     |     |     |
|          |                                                 | 5                                                                 | 苦手な学習や運動にも意欲的に挑戦し、最後まであきらめずに活動できるように励まし、支援する。                                   |  |     |     |     |
|          |                                                 | 6                                                                 | 危険予知能力を高めるために、交通安全や不審者情報について、くり返し指導を行ったり、安全に関する行事の事前・事後指導を充実させたりする。             |  |     |     |     |
|          | II<br>確かな学力と個性の伸長                               | 1                                                                 | 一単位時間の授業を充実させ、子どもに基礎的・基本的な内容を習得させるとともに、「できた・わかった」という達成感を味わわせることができるよう授業力向上に努める。 |  |     |     |     |
|          |                                                 | 2                                                                 | 朝読書の時間や国語科の授業を充実させ、音読の習慣化を図る。                                                   |  |     |     |     |
|          |                                                 | 3                                                                 | 子どもが「与えられた課題」をこなすだけでなく、「自ら考えた内容」を家庭学習に取り入れることができるような手立てを講じ、家庭学習の習慣化を図る。         |  |     |     |     |
|          | III<br>信頼される学校づくり                               | 1                                                                 | 学級通信や学級PTAで子どもの様子を知らせ、家庭と協力して子どもの育成を図る。                                         |  |     |     |     |
|          |                                                 | 2                                                                 | 全保護者と計画的に教育相談を実施し、相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、子どもの望ましい成長に向けて支援することができるようにする。           |  |     |     |     |
|          |                                                 | 3                                                                 | PTA行事や地域行事等に積極的に参加するとともに、子どもの地域行事等への積極的な参加を呼びかけ、子どもに学校が地域に支えられていることに気付かせる。      |  |     |     |     |